

利用者賃金増へ パン店2号店

障害者就労支援施設を運営する社会福祉法人アンタンテ（福山市引野町南）は、施設利用者の賃金アップを目的に、同市延広町にパン店「パンマルシェ キュイキュイ久松通り店」をオープンした。2012年4月から営業を始めている同市曙町の店舗に続く2号店。（森川進豪）

福山・障害者就労支援施設運営の社会福祉法人

新店舗の前でパンをPRする関係者



も無料でサービスしている。施設利用者1人と同法人の職員3人が常駐。精算業務の負担軽減にと、トレーに載せた複数個のパンの値段と種類を瞬時に識別できる「ベーカーリースキャン」を導入した。店舗の整備にはヤマト福祉財団（東京）の助成金も活用している。

7月15日のオープン以降、連日大勢の会社員や主婦らでにぎわっている。「値段が手ごろで本当においしい。また食べに来ます」と同市御門町、桑原恭子さん（63）。接客などを担当する施設利用者の渡辺翼さん（19）は「お客さんとのやりとりも少しずつ慣れてきた。これからも頑張りたい」と張り切っていた。営業は平日午前11時～午後6時半で、土日祝日は休み。同法人の池田正則理事長は「軌道に乗れば、利用者の増員も考えて

スキャン導入 精算業務負担軽減 軌道に乗れば増員も

久松通りにあった元洋服店種類を曙町の店舗から届けている。地域に密着した店になった1階部分を改装した。約40販売し、購入したパンをすぐてほしい」と期待している。問平方の店内には総菜パンやに食べられるイトインコーい合わせは同店（084-92菓子パン、ベーグルなど約60ナ（12席）も設置。コーヒ2-6791）。

2015年8月6日 山陽新聞